

バスは行く!

第12回～響溪谷と日田豆田の旅～

2004年4月27～28日

参加者 14名
スタッフ10名



看護師
沖永 佐奈江 寒竹 五月

12回目となった在宅酸素友の会「ひまわり」のバスハイク、今回は大分県大山町のひびきの郷へ泊二日で行ってきました。

前日から天候が悪く、当日も傘をさしての見送りの中、出発となりました。しかし、バス内で和やかにカラオケ大会を行っているうちに、みなさんの声が天に届いたのか、現地に着く頃には晴れ間が見えてきました。

旅館からの眺めは緑いっぱいの絶景(！)で、何度も深呼吸をしたくなりました。室内着は他の旅館と違い、浴衣ではなく「作務衣」で、とてもよく似合っていた看護部長の中山は従業員と間違われるエピソードもありました。絶景の露天風呂があるということで、ご案内しようとみなさんのお部屋を訪ねると、すでに一杯飲んでごきげんの方も。夕食は海の幸、山の幸いっぱいのおいしい料理で、宴会も大変盛り上がり、最後は「炭鉱節」をみなで踊りながらのシメとなりました。

翌日は快晴となり、前日とはまた違った緑の景色が見られ、それをバックに記念撮影をしたみなさんの顔が緑に良く映えていました。宿を出た後はお土産に大山町の特産品を買い込んで、小京都のイメージ豊かな日田の豆田町へ移動。旧天領の町並みを散歩しながら、お雛様を見学しました。参加された女性のみなさんは、女雛に負けない笑顔で、とても可愛らしく見えました。

あっという間の2日間でしたが、日帰りバスハイクに比べ人数が少なかったためか、アットホームな雰囲気を楽しむことができました。いつもの病院での患者と看護師という関係ではなく、違った場での関わりはとてもよい刺激となりました。



従業員に間違えられた？中山看護部長
バスハイクの企画を担当しています。



響溪谷の景勝をバックに記念撮影



露天風呂は最高!



炭鉱節のレッスン?



お雛様より可愛いでしょ!?